

この物語以上の本はどこにもないし、  
これからも出てこないだろう——

18世紀の日本を代表する古典研究家・本居宣長(1730-1801)は、実は『源氏物語』の愛読者。「源氏物語」を教訓的な作品として読むことを否定し、物語は物語として味わうという立場から、『源氏物語』の価値を再発見しました。光源氏をはじめ、それぞれの登場人物が感情豊かに活躍するこの物語の本質を「もののあはれを知ること」だと考えたのです。郷里松阪で40年にわたって『源氏物語』の講釈を行った宣長とともに、もののあはれの世界を覗いてみませんか。

令和六年度 秋の企画展  
宣長とひもとく『源氏物語』  
もののあはれを知る



▲▼『源氏物語湖月抄』北村季吟著「夢浮橋」 宣長手沢本



短歌大会を  
開催します！

第69回  
本居宣長顕彰短歌大会

歌をこよなく愛した宣長の祥月に毎年開催している大会です。当日は、参加者及び宣長賞作品の講評、表彰を行います。

選者 歌人・栗木京子先生

日時 11月16日(土) 13:00から

会場 松阪市産業振興センター3階研修ホール

予約 10月31日(木)まで

次回の企画展

冬の企画展「宣長とあわなかった人々」

会期 12月10日(火)～2025年3月2日(日)

夢に見るほど尊敬しているのに、会うことが叶わなかった人。あいつとは意見が合わないと、腹を立てた人。そんな一筋縄ではない人間関係と人々の思いを、宣長から探ります。

展示説明会

学芸員が展示内容を解説、ご案内します。

日時 9月21日(土)、10月19日(土)、11月23日(土祝)  
各日 11:00から(1時間程度)

※申込不要。当日入館券をお求めいただき、11:00までに本居宣長記念館・展示室へお越し下さい。

宣長十講 ※年間登録制、録画配信あり

- 9月21日(土) 14:00～15:00  
「音を仮名でどうあらわすか—かなづかいと『字音仮字用格』—」  
講師 今野 真二(清泉女子大学)
- 10月19日(土) 14:00～15:00  
「古代史研究者、紫文要領を読む—玉の小琴から玉の小櫛へ—」  
講師 榎村 寛之(斎宮歴史博物館)
- 11月23日(土祝) 14:00～15:00  
「表現から読み解く『葛花』」  
講師 佐藤 有貴(十文字学園女子大学)



松坂城跡の中にある  
博物館です！



※ご来館の際は、本居宣長記念館ウェブサイト等で最新情報をご確認下さい。諸事情により、変更する場合がございます。また、感染症対策にご協力をお願い申し上げます。

本居宣長記念館

〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7  
TEL 0598-21-0312 FAX 0598-21-0371



開館時間 9:00～17:00 最終入館 16:30  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
入館料 小学3年生以下無料

	通常料金	団体 30名以上
大人	400円	300円
大学生等	300円	200円
小人 小学4年生～高校生	200円	100円

【バス】市内バス「市役所前(松阪)」下車徒歩5分。

【自動車】国道166号線鎌田交差点を西へ1キロ。

伊勢自動車道松阪ICより5キロ。

【駐車場】自家用車は記念館へ。バスは市民病院前「松阪市駐車場」